

山口県 建設関係では4人が受賞 24年県選奨の選奨式開く

産業・教育・文化などの各分野で顕著な功績があった個人、団体に対し表彰する「2024年山口県選奨」の選奨式が11月20日、県庁内の会議室であった。

選奨式では、村岡嗣政

知事が出席した受賞者一人ひとりに声をかけながら選奨状を手渡した。

式後、村岡知事と柳居俊学県議会議長が「さまざまな分野において卓越した見識と行動力で、地域の発展に指導的な役割

を果たされた。さらに各分野で活躍されるとともに、その経歴を若い世代に伝え、人材の育成にも役立ててほしい」などと祝辞を述べた。

選奨対象は、公共団体または公共的団体でその事業に顕著な功績があったもの、公務員で永年その職務に精励し顕著な功労があったもの、産業・教育・文化・衛生の振興、社会事業などの各分野で顕著な功労があったもの（個人・団体）に贈られる。

今年の受賞者の内訳は、自治功労4人、芸術・文化・スポーツ功労7人・1団体、社会福祉功労9人・1団体、社会活動功労8人、教育功労5人・1団体、保健衛生・環境功労9人、産業功労14人・2団体。

建設関係では、産業功

労で伊藤光洋氏（山口市、元山口県建築士事務所協会会長）、井原宏巳氏（山口市、元山口県建設業協会監事）、末永壽和氏（広島市、元山口県電業協会会長）、重本徹也氏（防府市、米本重建）が受賞した。



受賞した皆さん